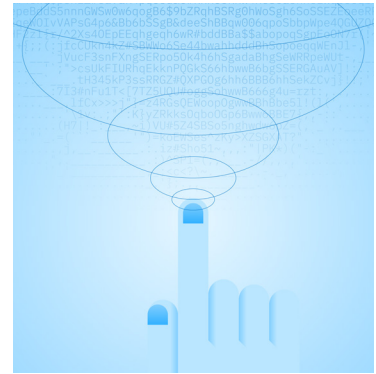


AI が増幅するデータとテクノロジーの力

アプリケーション・モダナイゼーション

モダナイゼーションは、既存の IT システムのパフォーマンス、効率性、セキュリティを、最新技術を取り入れて改善・最適化しながらシステムをアップグレードするプロセスであるが、多くの組織はその全面的な実践を見送ってきた。リスクが高い上に難度が高く、時間も要するためだ。だが、生成 AI を利用すれば、これまで対応が難しかった領域でも、価値の高いモダナイゼーションの実現が可能となる。



CEO が知るべきこと

生成 AI とアプリケーションのモダナイゼーションを組み合わせれば、アジリティー（機敏性）向上と収益成長という好循環に弾みがつく

経営層は、旧来のシステムに最新アプリを後付けすることはせず、生成 AI を使って複雑性を軽減することで、アプリのモダナイゼーションを加速させ、全社的なデジタル・トランスフォーメーション（DX）を推進している。

CEO が実行すべきこと

モダナイズ済みのアプリに生成 AI を重ねて活用することで、早期に成果を実現する

誰もがクイック・ウィン（早期の成果）を望む。モダナイズ済みのアプリに生成 AI を活用すれば、そうした可能性が見えてくるし、活動が滞っている取り組みを活性化することにもつながる。



企業が生成 AI を活用すれば、技術的負債を一掃できるチャンスが得られる

経営層の 83% は自社のビジネス戦略について、アプリとデータのモダナイゼーションが軸になっていると回答している。約半数は、生成 AI の活用によって従来の技術・財務上の課題が払拭できると答えている。

これまで対応が難しかった、基幹システム内のアプリやプロセスのモダナイゼーションに取り組む機会を捉える

ビジネス価値が高いにもかかわらず、モダナイゼーションの負担が「大きすぎる」「難しすぎる」との理由から断念されたプロジェクトを進める上で、生成 AI が力となる。



生成 AI の登場によって、IT とビジネスの間の距離がようやく埋まりつつある

経営層の 64% は、IT とビジネスの両部門がコラボレーション（相互協力）を緊密化し、距離を埋める上で、生成 AI が有用だと考えている。

ビジネスと IT に分けて目標の進捗を測定・評価することはせず、ビジネス価値と最も関連性の高い IT プロジェクトに最優先で取り組むことを明確にする

生成 AI を活用したアプリケーションのモダナイゼーションについて、実施サイクルの高速化を求め、その進捗に応じた報奨・評価を与える。そうした取り組みを繰り返すことによって、ビジネス成果をさらに高めていく。



生成 AI を活用すれば、テクノロジーはイノベーションを生み出し、ビジネスはテクノロジーの進化を後押しできる。

CEO のための生成 AI 活用ガイド

アプリケーション・モダナイゼーション

2023 年 8 月

関連インサイト：

ウェブ上の特設サイトを[見る](#)（日本語）

「AI 時代の到来で変わる CEO の意志決定」を[ダウンロード](#)（日本語）

「AI で ROI を生み出す」を[ダウンロード](#)

